



米国株 MARKET PICK UP



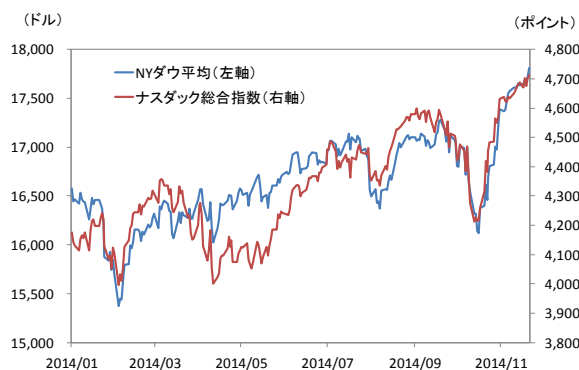
先週の米国株式市場—中欧の金融緩和受け主要指数は揃って高値を更新—

	前週終値	11月17日	11月18日	11月19日	11月20日	11月21日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	17,634.74	17,647.75	17,687.82	17,685.73	17,719.00	17,810.06	+175.32	+0.99%
騰落幅		+13.01	+40.07	-2.09	+33.27	+91.06		
S&P500	2,039.82	2,041.32	2,051.80	2,048.72	2,052.75	2,063.50	+23.68	+1.16%
騰落幅		+1.50	+10.48	-3.08	+4.03	+10.75		
ナスダック総合指数	4,688.54	4,671.00	4,702.44	4,675.71	4,701.87	4,712.97	+24.43	+0.52%
騰落幅		-17.54	+31.44	-26.73	+26.16	+11.10		

<先週の概況>

先週の米国株式市場は上昇しました。ダウ平均やS&P500は、住宅市場の関連指標が概ね良好だったことなどから週の半ばまでジリジリと上昇しました。週の後半にかけてはドラギ ECB（欧州中央銀行）総裁が国債の買い入れを含めた量的金融緩和の拡大に意欲を見せたことや、中国人民銀行が予想外の利下げに踏み切ったことが好感され、両指数は更に上昇して史上最高値を更新しました。ナスダック総合指数も年初来高値を更新しています。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



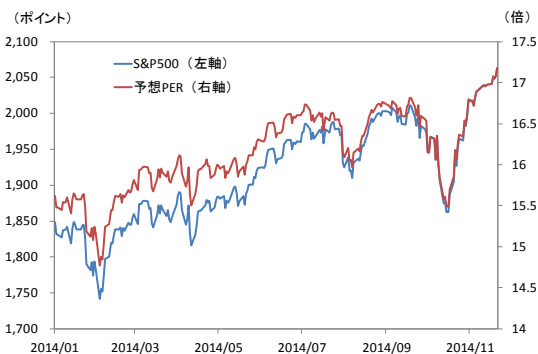
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	15.7	3.1	2.2%
S&P500	17.2	2.8	1.9%
ナスダック総合指数	23.5	3.6	1.1%

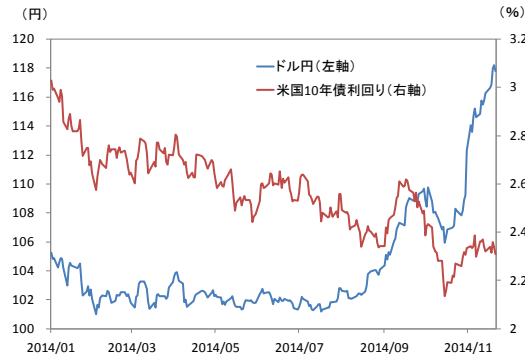
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2014年11月21日時点)

S&P500と予想PERの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

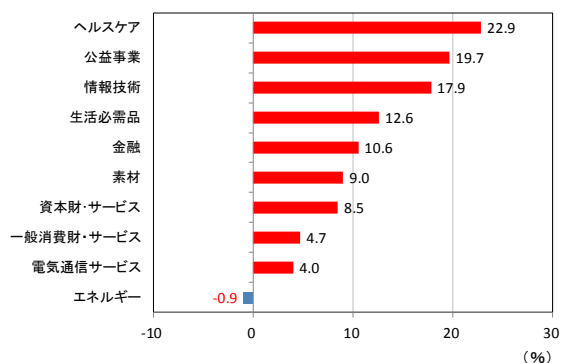
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

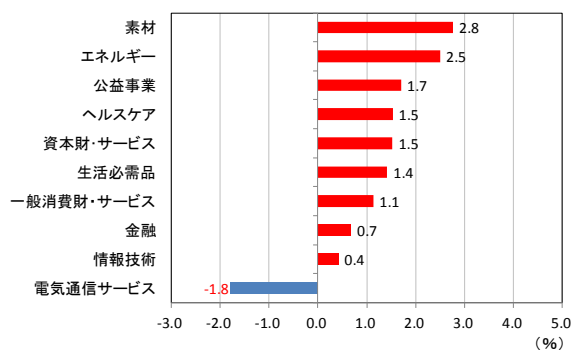
業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング(11/17-11/21)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
CAT	キャタピラー	5.0
INTC	インテル	4.8
KO	ザ コカ・コーラカンパニー	4.1
BA	ボーイング	3.0
UTX	ユナイテッド・テクノロジー	2.7
V	Visa	2.2
CSCO	シスコシステムズ	2.1
WMT	ウォルマート・ストアーズ	2.0
NKE	ナイキ	2.0
GE	ゼネラル・エレクトリック	2.0

(出所) マネックス証券作成

値下がり率ランキング(11/17-11/21)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
MSFT	マイクロソフト	-3.2
VZ	ベライゾン・コミュニケーションズ	-2.5
DIS	ウォルト・ディズニー	-2.0
IBM	IBM	-2.0
T	AT&T	-1.7
AXP	アメリカン・エキスプレス	-0.3
JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン	-0.3
GS	ゴールドマン・サックス・グループ	-0.2

(出所) マネックス証券作成

<上昇>

2015年の売上高について強気な見通しを示したインテル (INTC) が週間で5%近い大幅上昇となりました。ウォルマート (WMT) は5%超上昇した前週に引き続き、2%の上昇と堅調な値動きを見せました。

<下落>

マイクロソフト (MSFT) は議決権行使の助言会社が CEO の報酬に反対するよう株主に助言していると報じられ、軟調でした。IBM (IBM) は法人向けの電子メールの新サービスを発表しましたが、週間で2%の下落となりました。

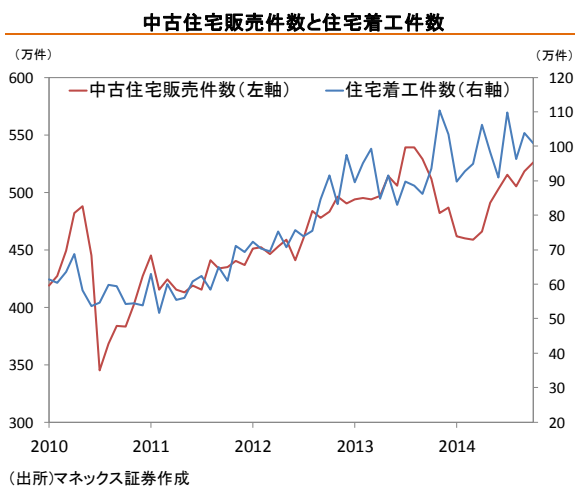
先週発表された主な経済指標

中古住宅販売件数 10月 526万件 市場予想 515万件 前月 518万件（上方修正）

住宅着工件数 10月 100.9万件 市場予想 102.5万件 前月 103.8万件（上方修正）

先週発表された住宅市場関連の指標は概ね堅調でした。まず、18日に発表されたNAHB住宅市場指数は市場予想（54）を大きく上回る58となりました。また、19日に発表された住宅着工件数は、10月分は市場予想を下回ったものの、9月分が上方修正されました。

21日に発表された中古住宅販売件数は526万件と昨年9月以来約1年ぶりの高水準となり、市場予想も上回りました。住宅市場の回復傾向は着実に続いているようです。

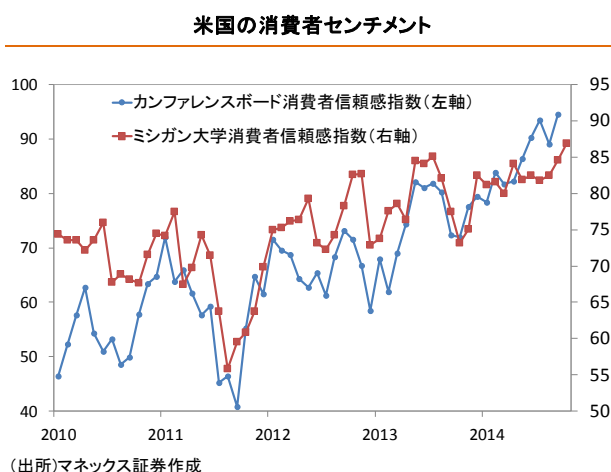


今後発表される主な経済指標

25日 11月 カンファレンスボード消費者信頼感指数 市場予想 96.0 前月 94.5

25日にカンファレンスボード消費者信頼感指数が発表されます。本指標は個人消費の先行指標とされる消費者センチメント動向を表していますが、同じく消費者センチメントを示す先に発表されたミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は89.4と約7年ぶりの高水準を記録しています。

より調査対象の人数が多く信頼性が高いとされるカンファレンスボードの調査も良好な内容が期待されており、まもなく始まる米国の年末商戦への期待が高まっています。



マーケットビュー—米国株の年末株高アノマリーは今年も有効？—

先週のマーケットビューでは住宅関連指標や CPI、FOMC 議事録に注目と記しましたが、それぞれ無難な内容で、株式市場は一段高となり史上最高値を更新しました。

さて、米国市場には年末に株高となるアノマリーがあることをご存じでしょうか？以下の表は過去10年間のダウ平均の11月末と12月末の株価を比較したのですが、過去10年の内上昇が7回、下落は3回と株高傾向にあることがわかります。さらに、12月内の高値をつけた日が月の後半に多く見られる傾向があります。このアノマリーのはっきりとした理由はわかりませんが、おそらくクリスマスに向けた年末商戦への期待の高まりが背景にあると考えられます。

今年の年末商戦は全米小売業協会（NRF）が売上高を前年比4.1%増と昨年の増加率である3.1%を上回る強気な見通しを発表しているなど、これまでのところ好調に推移する見込みとなっており、今年も年末株高のアノマリーが実現するか注目です。

過去10年間のNYダウ平均の年末の値動き

年	11月末	12月末	騰落率	12月高値をつけた日	12月安値をつけた日
2004年	10,428	10,783	3.4%	28日	7日
2005年	10,805	10,717	-0.8%	1日	30日
2006年	12,221	12,463	2.0%	27日	1日
2007年	13,371	13,264	-0.8%	10日	17日
2008年	8,829	8,776	-0.6%	8日	1日
2009年	10,344	10,428	0.8%	30日	8日
2010年	11,006	11,577	5.2%	29日	1日
2011年	12,045	12,217	1.4%	23日	19日
2012年	13,025	13,104	0.6%	18日	28日
2013年	16,086	16,576	3.0%	30日	12日

(出所) マネックス証券作成

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

利益相反に関する開示事項

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先証券会社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先証券会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

- ・当社は、本レポートの内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではないです。
- ・記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。
- ・提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。
- ・当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
 一般社団法人 日本投資顧問業協会